

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画												
計画の名称	通行空間の安全性・快適性の確保(無電柱化推進計画支援)											
計画の期間	平成31年度 ~ 平成31年度				交付対象	静岡県						
計画の目標	<p>・都市計画道路の無電柱化推進により、道路の防災性能の向上、通行空間の安全性・快適性の確保及び良好な景観形成を確保する。</p>											
計画の成果目標(定量的指標)	<p>・対象路線における無電柱化により、計画区間における電線共同溝の整備率を18.8%(H31当初)から39.5%(H31末)に向上させる。</p>											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
									当初現況値	中間目標値	最終目標値	
									(H31当初)	(H 末)	(H31末)	
①	電線共同溝整備計画延長に対する整備状況から電線共同溝整備率を算出する。 (電線共同溝整備率) = (電線共同溝整備済延長) / (電線共同溝整備計画延長) × 100								18.8%	—	39.5%	
②										—		
③												
全体事業費	合計(A+B+C)	541 百万円	A	541 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%		
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考		
街路		(都) 西間門新谷線(4工区)			電線共同溝 L=0.40km			清水町	73			
事業数		(都) 沼津南一色線(西工区)			電線共同溝 L=1.00km			沼津市	190			
3		(都) 新橋菜葉沢線			電線共同溝 L=0.28km			御殿場市	278			
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)												
計画の移行なし	○		△	3	—		備考		計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>・(都)西間門新谷線(4工区)及び(都)沼津南一色線(西工区)などの事業箇所について、電線共同溝工事を実施することで都市部における道路の防災性能の向上や良好な景観形成を推進することができた。</p>										
II 定量的指標の達成状況	指標① (%)	最終目標値	39.5		目標値と実績値に差が出た要因	・計画的に事業を推進することにより、目標値の39.5%(整備延長L=820m)を上回る42.2%(整備延長L=877m)の整備を完了させた。						
		最終実績値	42.2									
	指標② (%)	最終目標値										
		最終実績値										
	指標③ ( )	最終目標値										
		最終実績値										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<p>整備区間内の歩道部について、電線共同溝の整備により歩道幅員が確保でき、歩行者と自転車の走行位置を分離する等、通行空間の安全性・快適性の確保が図られている。</p>										
4. 今後の方針等												
<p>・引き続き、関係市町と連携し、災害時に備えた都市部の防災性能の向上と、平時の安全で快適な自転車・歩行者空間の確保に努めるとともに、富士山などの景観を生かした美しく魅力ある都市づくりに寄与していく。 ・当該路線の電線共同溝未整備箇所についても、個別補助事業にて事業を継続し、早期完了を目指す。</p>												